

学生の修学支援（文学研究科）

◆新入生の履修ガイダンス

教育課程の内容や授業科目の体系、修了要件、論文作成のスケジュール、履修登録の方法等、学位取得までのプロセスについて詳しく説明します。また、研究倫理教育も実施します。

◆在学生の履修ガイダンス

成績表を配付し、今後の学位取得に向けた修学上必要な事項についての説明を行います。

◆研究指導体制

院生の研究テーマに即して、指導教授のほかに、そのテーマに関する指導教授2名以上を定めて複数で指導にあたっています。

博士前期課程の修士論文については、2年次春学期に「修士論文構想発表会」、秋学期に「中間発表会」を行い、それぞれ指導を受けた上で、予備審査、最終試験を経て、本論文を提出します。

博士後期課程の学位論文審査は、指導教授を主査とし、当該論文に関連ある科目担当教員2名以上及び学外審査員を加えて行われます。博士論文の草稿の完成後、予備審査会、公開説明会を経て、本審査および最終試験を実施します。複数回の審査を経ることにより、より質の高い博士論文を完成させるための研究指導を行っています。

また、2年次秋学期に「論文構想発表会」を行い、研究活動の進捗状況によっては、博士論文提出に先立ち予備論文作成を課し、指導することにより研究成果をまとめる手厚い支援を行っています。

また、キャンパスに整備されている図書館を利用することにより、国内外におよぶ文献検索サポートを受けることができます。

◆協定校の授業受講

英語英米文学専攻においては、大学院英米文学・英語学分野の単位互換制度に関する運営協議会協定校の締結により4大学間で、社会学専攻においては大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校の締結により13大学間で、それぞれ各大学の特色ある授業科目を履修することが可能であり、修得した単位は修了要件単位として認められることがあります。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、学位取得までの履修登録を含む各種手続きに関する相談や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

学生の修学支援（経済学研究科）

◆新入生ガイダンス

教育課程の目的、授業科目の体系、学位取得要件、修士論文・博士論文に関わるスケジュール、履修登録の方法等について、入学時にオリエンテーションを行い、詳しく説明します。

◆在学生ガイダンス

履修登録の方法や今後の修士論文・博士論文のスケジュールなど、修学上必要な事項についての説明を行います。

◆修士論文中間報告会

10月上旬に、博士前期課程2年生、後期課程1～3年生を対象に、修士論文の執筆計画や進捗状況を発表する機会としています。

◆博士後期課程研究報告会

10月上旬に、博士後期課程1～3年生を対象に、博士論文作成に向けた研究報告会を実施し、教員や他の大学院生から意見を聞く機会としています。

◆履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、履修登録や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

学生の修学支援（法学研究科）

▼ 新入生オリエンテーション

入学時にオリエンテーションを行い、研究科紹介や履修指導、学生支援の説明等を行います。

▼ 指導教授による個別研究指導

学生は入学時に専修分野を選択し、専修分野に応じて指導教授を決定します。指導教授は学生に対し、修士論文や博士論文、特定課題研究の指導を行うとともに、履修すべき科目等の助言も行います。

▼ 集団研究指導と論文中間報告会

指導教授による演習を補完するため、研究科所属の全指導教員による「合同論文指導」「特定課題研究指導」「合同リサーチペーパー指導」を定期的を実施します。

また、博士前期課程の学生に対しては、研究成果の中間的なとりまとめとして、2年次の7月頃に実施される「合同論文指導」において、修士論文の中間報告会を実施します。博士後期課程の学生に対しては、専修分野において年次ごとに実施される「合同論文指導」において博士論文の中間報告会を実施します。

▼ さまざまな学生支援

学位取得までの履修登録を含む各種手続きに関する相談や免許・資格取得に関する個別相談等の修学支援を随時行っている他、文献利用補助その他の研究支援や奨学金制度その他の経済的支援など、さまざまな学生支援を行っています。

学生の修学支援（工学研究科）

◆ 新入生オリエンテーション

教育課程の内容や授業科目の体系、修了要件や履修登録の方法等、学位取得までのプロセスについて、授業開始前までにオリエンテーションを行い、遅滞なく Web による履修登録ができるようにサポート体制を整えています。また、就業年限中に研究倫理教育を義務化し実施しています。

◆ 在学生オリエンテーション

各学期開始直後に成績表を配付するとともに、今後の学位取得に向けた修学上必要な事項について、個別に教員から説明を行っています。また、就業年限中に研究倫理教育を義務化し実施しています。

◆ 研究指導および論文審査

博士前期課程の修士論文については、指導教授から学位取得までの全日程および各種手続き関係書類が配布され、詳細な説明を受けます。また、指導教授のほかに、審査委員 2 名以上による指導を受け、本論文を提出します。その後、専攻毎に論文審査を研究発表会として行っています。

博士後期課程の学位論文審査は、研究指導教授を主査とし、当該論文に関連ある科目担当教員 2 名（指導教授 1 名を含む）以上を加え、合計 3 名以上で行われます。博士論文の草稿の完成後、予備審査会にて公開説明会開催の可否を審査し、その後公開説明会を経て、本審査および最終試験を実施します。複数回の審査を経て博士論文を提出させることになり、より質の高い博士論文を完成させるための研究指導を行っています。

さらに、本学研究科においては、学位論文審査に関する論文指導ルーブリックを開発・導入しており、大学院生の学習成果等を形式的な把握および評価を行なっています。

◆ 連携大学院教育

外部の研究機関と連携し、高度な人的・物的研究資源を活用することで、多様な大学院教育を展開する「連携大学院」制度があります。研究機関の研究者が大学院の客員教員に就任し、研究所内で学生を学位取得まで指導します。博士前期課程においては、課程修了に必要な授業科目は概ね 1 年次に履修・単位修得することとし、2 年次において、研究所などの連携先で指導を受けることができます。

◆ 履修相談や免許・資格取得に関する個別相談

教務課では、学位取得までの履修登録を含む各種手続きに関する相談や免許・資格取得に関する個別相談を随時行っています。

◆ 教育研究・指導改善アンケートの実施とその結果への対応

毎年度、授業や研究指導に対する改善点や要望を把握することを目的に、大学院生を対象に Web 上でアンケートを実施しており、その結果を踏まえて関係部署と連携してより良い教育研究環境を作りだせるような態勢をとっています。

学生の修学支援（看護学研究科）

◆新入生オリエンテーション

研究科の理念・目的、開講科目、学位取得要件、論文作成のスケジュール、履修登録の方法および修学中に発生しうるトラブルへの対応などについて、入学時にオリエンテーションを行い、詳しく説明します。

◆指導教授による個別研究指導

学生は入学時に専門科目区分を選択し、指導教授を決定します。指導教授は学生に対し、修士論文の作成指導にあたりると同時に、履修すべき科目等についても助言を行います。

◆修士論文中間報告会

10月に、2年生を対象に、修士論文の執筆計画や進捗状況を発表する機会としています。

◆教務課による履修相談

教務課では、学位取得までの履修登録を含む各種手続きに関する相談を行っています。